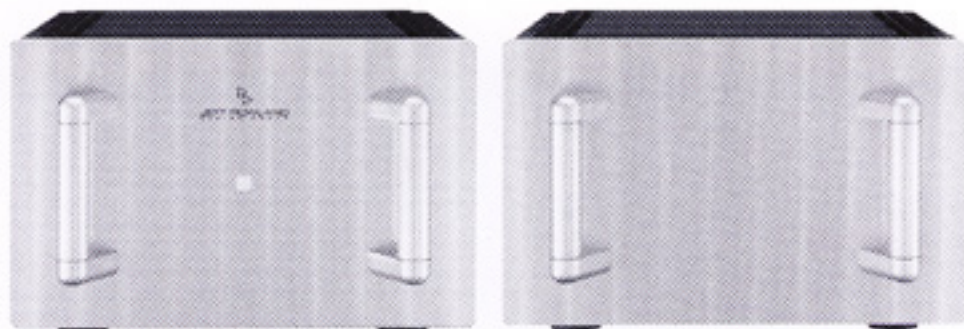




JEFF ROWLAND
STEREO POWER AMPLIFIER / DC 8


JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP





アンプの電源はDCです。そのためアンプはAC電源を自分で整流し各ステージに供給します。今問題になるのはその電源の質です。音楽再生にデリカシーを求めるオーディオファイル達はAC電源を出来るかぎりビューアーに保とうと神経を使い、極端な場合には自家発電まで行なうマニアもいます。

悩めるオーディオファイルの問題は、J. ロウランドによっていとも簡単に解決されました。究極のDC電源を装備したアンプの登場です。これによりどんなに電源事情が悪い環境でも理想の音楽再生が可能になりました。今まで不可能とされていたDCパワーアンプが遂に実現されました。これは、パワーアンプの革命的な出来事です。

DC電源は4個のバッテリーにより供給されます。バッテリーは室内での使用を前提とした医療機器、コンピューターバックアップ電源用の極めて安定度の高い、しかも世界中何処でも入手できる、安定供給されているものです。したがって、バッテリーによる環境汚染はありません。クリーンな環境でクリーンな電源を楽しんでいただけます。しかも演奏時間はチャージモードをキープすれば、ほぼ中断なく演奏が出来るのです[チャージモードでない場合(AC電源を抜いた場合)、バッテリーの充電状況にも拠りますが、通常の使用条件でフルチャージされている場合、2~4時間使用可能]。こんな理想を可能にしたのは、極めて省エネルギー化されたアンプ本体の回路構成が出来上がったからです。大出力、大消費というアンプの図式は一昔前のもの、環境に優しい、しかも音質的妥協のない、J. ロウランドのDCアンプ。オーディオの理想に又一步、J. ロウランドは近づいたのです。

DC8はモデル9の美しさをそのまま引き継ぎ、ステレオアンプにすることによって避けられない妥協を最小限に押さえた、比較する対象がないと言われるほどの高次元の作品です。原音のもつしなやかな表現、限りなく自然で透明度の高い音質、正確で奥行き深いサウンドステージの再現力、そして演奏家の表情が見えると評論家をうならしめた精緻な、そしてデリケートな表現力。どんなスピーカーをも危なげなくドライブす

る優れたドライブ能力。今、新たなるオーディオの世界を開く凄みと繊細さのあるアンプの登場です。

しかも、モデル9で世界を驚かせた、黄金比率のヒートシンク、その非常に頑丈な無共振ジュラルミン製シャーシを使用し振動によって引き起こされるマイクロフォニック歪を極限まで低減させました。その回路構成はモデル9と同じ回路を持つモジュールを新規にCAD,CAMプログラムで更に縮小、各素子間のシグナルパスを大幅に短縮し、一箇のモジュールケースに収納することに成功しました。又、バッテリー電源は、マシンカットされたシャーシに収められ、チャージサーキットは、二機装備されて、一機が2個のバッテリーのチャージを受け持っています。回路構成・機械物理的構成・電源と、理想な形でのステレオアンプの実現に成功、さらにDC電源により、全く異次元の音場・音質を再生する他を圧倒した夢のアンプがご紹介できる時代となりました。

完璧な再生音を求めて、J. ロウランドは非常に微細なレベルから各部を検討、それを統合し、一貫性をもたせ、美しい花が微小な分子構造の集合体であるように、開花させました。

J. ロウランドはDC8開発に当たり物理的に振動のないシャーシ構造をミクロの眼で追い求め、パワーサプライ理想のDCバッテリードライブとしたこと。精緻な音楽信号をありのまま認識し共振やひずみなどの不要な信号を加えずに精緻なままに増幅すること。それを理想の電源で、クリーンにドライブすること。音楽の一粒一粒の構築物は、ミクロのレベルで行なわれ、ラージフォーマットの写真のように、精密で陰影に富み、生命の息吹さえ感じられる音楽を目の前に再現するのです。

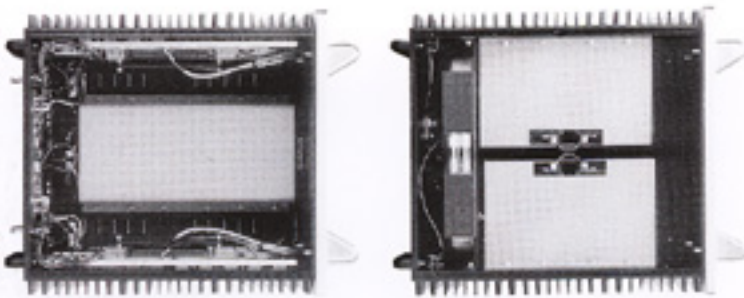
モジュールにはトランスインピーダンス ディファレンシャルモード、シングルエンドインプットをバランスに変換、CMRRを広帯域に渡って最適化するトランスインピーダンスアウトプットゲインブロックをドライブするバッファアウトプットに、高電流を供給する作業を行なうステージと逆相信号を供給しあう2機のディファレンシャルバランスアウトプットシグナルをスピ

ーカーターミナルに供給。この2つのアウトプットゲインブロックは、強力なパワーサプライより電源の供給を受けるため、アウトプットステージにパワーサプライコモンモードを発生させています。また、アンプ全体を通過するシグナルからは、サーキュレートするグラウンドリターン電流の悪影響を排除、高純度電源による理想のクリーンドライブが完成しました。しかもモジュールは無共振の黄金比率シャーシにしっかりと一体化されていますので、回路本来の性能が如何なく発揮できるのです。

全てのJ. ロウランド アンプは、物量投入型、鋼が焼き入れ、焼きなましによりより優れたものに昇華するように、年月と共に熟成していくアンプなのです。しかも、無理のないストレスフリー設計、加えて酸化対策を完全に実施した無経年変化のカルダスケープルをシグナルパスに使用するなど、長年の使用に対しても万全です。実際、モデル8のユーザーの方々より、灯を入れるたびに、前よりもあきらかにしなやかでシャープな音になっている、という嬉しいお電話を頂いております。スピーカー以外に優れたアンプもワインのように熟成するものだと、今更ながらに私達も驚いております。

使いやすさもDC8の特長の一つです。リアパネルにはミューティング・フェイズ変換・インプットインピーダンス変換・ゲイン変換スイッチを装備、バイパス・ヒートシンク温度を絶えず高精度モニターで検知し、外部温度に関係なく一定の温度、バイパス電流を保証、常に最良の状態で作動することを約束します。又、バッテリーはパワーサプライブロックをAC電源に接続しておくだけで常時チャージされており、聴き手は全神経を音楽に集中することができるのです。

私達のめざすオーディオの世界、それは、目を閉じれば演奏家がそこに現われ、聴き手のために音楽を最高の状態で奏でること。限られた時間に最高の楽しみを与えてくれる、機械ではなく、聴き手自身の時間に対する投資に耐える、優れた機器を提供することにあります。私達の貴重な時間を、常に最高の音質・音場で再現したい。それが、オーディオメーカーの義務であり責任なのであります。



JEFF ROWLAND STEREO POWER AMPLIFIER / DC 8

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| Output power per channel | 8 ohms 4 ohms 2 ohms | 100w(continuous RMS watts) 200w 300w |
| Power bandwidth | 0.1Hz to 160k Hz, -3dB | |
| THD and noise | less than 0.1% (within audio Bandwidth) | |
| Damping factor | Greater than 100, 20Hz - 20k Hz, 8 ohms | |
| Output current | 50A continuous, 100A peak | |
| Overall gain & sensitivity | 26dB or 32dB, user selectable, 141mV or 71mV | |
| Input impedance | single ended balanced | 50k or 300 ohms, user selectable 100k or 600 ohms, user selectable |
| Common Mode Rejection Ratio(CMRR) | Greater than 75dB, 20Hz - 20k Hz | |
| Absolute phase | User selectable on back panel | |
| Input mute | User selectable on back panel | |
| Power consumption | 50w stand by, 100w operating (*) | |
| Inputs | User selectable on back panels, RCA(1) XLR(1) | |
| Outputs | 2 pairs binding post | |
| Deimensions | Power Amplifier | 44.5cm(W) x 56cm(D) x 28.5cm(H) |
| | DC Power Supply | 44.5cm(W) x 56cm(D) x 28.5cm(H) |
| Weight | Amplifier | 34kg |
| | DC Power Supply | 64kg |

*バッテリーチャージキャパシティーにより異なります。◆規格等は改良のため予告なく変更されることがあります。
◆オプションパーツ: ゴールデンセクション取り出しトッププレート